

# しんわ



確かな学力を身に付け、  
自らの生活や夢・未来に生かそうとする児童の育成  
～ 笑顔 挑戦 思いやり～

重点的に育成をめざす資質・能力

- やり通す力
- 自分で考え取り組む力
- 協働する力



## 6月は「心のきずなを深める月間」です



熊本県は、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、「熊本県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための施策として、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を自覚し、相互に補完し合いながら、地域ぐるみでいじめを許さない学校・学級づくりに向けて取り組む気運を高めるとともに、児童生徒が主体となる取組を学校、家庭及び地域が一体となって支援することとしています。

本校でも6月を「心のきずなを深める月間」と定め、いじめの未然防止に重点を置いた総合的な対策を推進しています。いじめ問題や自殺問題等の報道が新聞などでも見られますが、「命の大切さ」を教育の最重要課題として位置づけ、一人一人の子どもの理解をさらに深めるため、「心のアンケート」を実施し、それをもとに全ての児童に、担任が中心となって教育相談を行っています。子どもたちが安心して居心地のいい学校にするためには、まず、児童が悩みを相談しやすい学級の雰囲気づくりが必要です。しかし、本校児童は、なかなか自分のことを自分で話すのが苦手な子も多いようです。

以下の文章は、あるお坊さんのお話として私が前任校の人権集会で紹介したものです。

6月は「心のきずなを深める月間」

一人ひとりの個性が輝く世の中に

いじめを許さない 学校・学級を目指して

「おかしい。」と言えぬ自分になりたいな

令和5年度(2023年度)最優秀賞 大津町立大津北中学校 3年 山崎 和

学校での取組例	家庭教育での取組例	地域での取組例
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童会・生徒会主催の交流を図る集いの活動</li> <li>○身体活動・動物体験活動等の体験活動や体験学習の実施</li> <li>○健康や生活習慣の学習</li> <li>○部活動のキックアップ会議や顧問会等の実施</li> <li>○保護者や地域住民に公開する活動等の実施</li> <li>○いじめに関する校内研修の実施等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の触れ合いの中で、子供の心の状況を把握</li> <li>○親子で感動を共有できる活動(自然体験、スポーツ、読書等)</li> <li>○子供の自尊感情を高める日頃の言葉かけ</li> <li>○「くまもと家庭教育10か条」の活用</li> <li>○家族そろって地域活動への参加</li> <li>○「くまもと携帯電話・スマートフォン利用5か条」の活用推進等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供が地域住民と交流する場づくり</li> <li>○一日一汗運動、福祉ボランティア活動の実施</li> <li>○地域行事等に誘われる子供が参加体験できる場づくり</li> <li>○児童館の子供たちが一緒に遊ぶ場づくり</li> <li>○総合型地域スポーツクラブへの参加等</li> </ul>

熊本県教育委員会

深呼吸をすると、胸やお腹がふくらんだりへこんだり・・・自分の体の中に空気が出入りして、生きていることを感じられます。人間が生きていくためには、息をしなくてはなりません。息は、まず吐くことから始まります。そして、息を吐いた後に新鮮な空気を取り入れ、生きることができるのです。

これは、人間の心も同じです。心の奥底にある悩み、悲しみを吐き出して人に伝え、そして楽しい感情を心の中に取り入れることによって人は生きていくことができるのです。溜めてばかりいると、吐くこともできず、取り入れることもできず、心が病気になるてしまいます。

今、心の中でいろいろな苦しみを溜めている人がいれば、すぐに吐きましょう。そうすれば、自然と生きる道が切り開けるでしょう・・・。悩みや苦しみ、またそれだけではなく聞いてもらいたいこと、見てもらいたいこと、悲しいこと、うれしいこと、心の中のものは何でも溜めておらずに、まわりの友達、家族、先生などに、しっかり吐き出し伝えてほしいと思います。

そして励ましやアドバイスをもらったり、ほめられたり、認められたりすることで、心にプラスのエネルギーを取り入れて、心も体も元気でいてほしいと思います。

自分の想いをしっかり相手に伝える力を育てるとともに、そのような環境づくりにも、引き続き取り組んでいきます。学校・家庭がいっしょになって、子どものサインに気づけるよう最善の努力をしていきましょう。

### 学校での取組の一部を紹介します

- 心のアンケート、担任との教育相談
- 人権旬間の学級目標設定
- 今月の歌「虹」
- 「ぼく・わたしの行動宣言」と振り返り
- 「心のきずなを深める」ための評語・ポスター
- 人権学習(道徳・学活)
- 人権集会(6/7、7/4)
- なかよしタイム:全校遊び(6/28)

### 家庭でも次のような取組をお願いします

- 家族の触れ合いの中で、子供が自分の思いを出せる機会を持てるようにする。
- 感動を共感できる機会としての自然体験活動、スポーツ活動、親子読書等に取り組む。
- 子ども自身の自尊感情や自己有用感を高めるような日常の言葉かけを行う。
- 「くまもと家庭教育10か条」を家族で見直す。
- 家族で地域活動に参加する。
- 携帯端末の使い方について話し合う。

## プール掃除、そしてプール開き～水泳の学習スタート!

5月23日(木)にプール掃除を行いました。子どもたちも一生懸命に取り組んでくれたおかげで、予定どおり作業を終えることができました。そして水を注入し、翌週にはきれいな水がキラキラ輝くプールになりました。

6月10日(月)の自由参観日には、プール開きを行いました。今年は全校でそろってプール開きを行い、子どもたちはプールに入るのをとても楽しみにしていました。しかし、プールは楽しいですが、一歩間違えれば、事故にもつながってしまうことがあります。そこで3つだけ、守ってほしいことを話しました。「油断しないこと」「あわてないこと」「楽しむこと」の3つです。いろいろなプールでのきまりを覚えてもらおうと思いますが、それと合わせて、この3つことも守って、怪我や事故のない、楽しい時間にしてほしいです。



## 新体力テスト～自分の体力・運動能力をチェック!

児童が自分の体力や運動能力を知り、その向上をめざす意欲を持つきっかけにするために、5月30日(木)に新体力テストを実施しました。児童は50m走、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、上体起こし、反復横跳び(20mシャトルラン、長座体前屈、握力は別日に)の測定に取り組みました。結果は、後日わかり次第お知らせし、今後の体育指導や体力向上の取組に活かしていきます。



## 子ども民生委員委嘱状交付式(4年)

6月8日(木)に4年生を対象とした子ども民生委員委嘱状交付式が行われました。その後、認知症サポーター養成講座を受講し、サポーターとしての証であるオレンジリングをいただきました。子ども民生委員として、子どもたちに、地域のために何が出来るかを考え、まずは新和苑での交流活動を進めていく予定です。



## 少年消防クラブ入部式(6年)

6月12日(水)に少年消防クラブの入部式が行われました。任命書授与の後、早速消火訓練を行いました。今後、着衣水泳法や救急救命講習を受講する予定です。



## 仕切り網漁体験(4年)

6月6日(木)に仕切り網漁体験が行われ、4年生が参加しました。午後から宮地浦公民館に移動し、海に入る準備を整え、タモ網を持っていざ海へ!干潮に合わせて仕切った網で取り残された魚をすくいます。たくさん魚を手にして、楽しい一日となりました。



## 7月の行事予定

1日(月):委員会  
 3日(水):はまぼう群生見学  
 4日(木):人権集会、環境学習(4年)  
 5日(金):命を育む授業(参観)、学級懇談  
 8日(月):地区児童会  
 9日(火):読み聞かせ



11日(木):全校集会  
 12日(金):英会話集会  
 15日(月):海の日  
 19日(金):終業式、水泳記録会練習  
 22日(月):水泳記録会(5・6年)  
 夏季休業日～8/28

